

ID

様

生年月日


病名

入院予定表（リツキサン療法）

主治医

説明医

立会い看護師

	治療前日	治療開始日	治療2日目
治療・処置	一般的な診察や体温、血圧測定をします。 	治療開始後、アレルギー症状がでていないか、定期的に血圧等、身体の状態をチェックします。	発熱やその他のアレルギー症状がないか引き続き注意深く観察します。
点滴・注射・飲み薬	①腫瘍が壊れて起きる合併症（腫瘍崩壊症候群）の予防のため点滴（生理食塩水）を行う場合があります。 ②腫瘍が壊れ、尿酸値が上昇し、腎機能が悪化することを防ぐため尿酸を抑える薬（フェブリク錠）を内服開始します。	化学療法（リツキサンの点滴をします。） リツキサンは点滴ポンプでゆっくりした速度から開始します。 アレルギー症状の予防のため、ステロイド剤（ソル・コーテフ）、抗ヒスタミン薬（ポララミン）を点滴します。またリツキサン点滴開始30分前に、発熱を抑えるため解熱薬（カロナール）2錠を内服してもらいます。 	
検査		心電図モニターを装着します。 問題なければ、17時に外します。	採血があります。
日常的な検査	血圧や体温測定をします。 体重測定をします。	血圧や体温測定をします。	血圧や体温測定をします。
食事	お食事（ご飯）が出来ます。	お食事（ご飯）が出来ます。 	お食事（ご飯）が出来ます。
病院内の活動	制限ありません。	治療日のため室外には出ないようにして下さい。	病棟内は動けますが、病棟外には出ないようにして下さい。
清潔	シャワーできます。		シャワーできます。
説明/記録	医師が治療スケジュール、副作用、治療日記について説明します。	治療日記に記載をしましょう。	治療日記に記載をしましょう。 
その他・留意点	リツキサンの副作用として、まれに、寒気、発熱、発疹、浮腫、かゆみ、息苦しさ、嘔気、腹痛等の症状が出る場合があります。	リツキサン開始後、寒気、発熱、発疹、浮腫、かゆみ、息苦しさ、嘔気、腹痛等の症状が出ましたら、直ちに医師又は看護師にお知らせ下さい。	治療翌日になって発熱やむくみ等が出る場合があります。もしこのような症状が出ましたら必ず医師又は看護師にお知らせ下さい。
ご意見ご要望があればご記入ください			

*病名等については、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わる可能性があります。

*入院期間については現時点で予想されるものです。

上記の内容について説明を受けました。

患者氏名

家族氏名(続柄)

(自署の場合押印は不要です)